

りとにゆす

No. 74 2016.11.1

図書館の情報を
携帯でチェック!!編集・発行 岡山理科大学図書館
〒700-0005 岡山市北区理大町1-1
<http://www.lib.ous.ac.jp>協同学習を支援する
ラーニング・コモンズ

学 長 柳澤 康信



いま日本の大学教育は大転換期を迎えている。それは「先生が教える」から「学生が学ぶ」へのパラダイム転換である。その学びの形態も、個人単独の学びから協同学習へと重点が移っている。このような認識の高まりに伴って、大学図書館の機能も変わりつつある。そのひとつの表れがラーニング・コモンズの設置である。岡山理科大学においても創立50周年事業として建築されたA1号館4階の図書館にラーニング・コモンズが併設された。ラーニング・コモンズとは、「複数の学生が集まって、電子情報も印刷物も含めた様々な情報資源から得られる情報を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にする場」のことで、コンピュータ設備や印刷物を提供するだけでなく、図書館職員によるサポートも提供される。

では、なぜ協同学習が重視されるようになったのか。それに強い影響を与えたひとつが、アメリカ国立訓練

研究所によって提示された「ラーニングピラミッド」という概念であろう。これは7つの異なる学習方法によって定着率（「学んだ内容を半年後にどれだけ覚えているか」）を比較したもので、教師による一方的な講義（5%）や書籍（10%）で得た知識の定着率はきわめて悪く、視聴覚教材（20%）や実験教材（30%）を用いた学習ではそれよりも良好。グループディスカッション（50%）、体験を通じた学習（75%）、他者に教えた経験（95%）ではより高い定着率が得られている。

この「ラーニングピラミッド」の図形は視覚的にも分かりやすいため、協同学習やアクティブラーニングの推進者によってよく引用されるが、学習方法の違い自体が決定的に重要なのではない。講義であっても協同学習の要素を取り込むことは十分に可能だし、逆に協同学習が「わいわい話し合っただけ」という場合もある。

ラーニング・コモンズを通して図書館に期待されるのは、「正統な協同学習」の提供・普及ではなかろうか。学生たちがそこで効果的な協同学習の方法を体得できたなら、テーブルと椅子があるだけの場所でも、あるいは何もない芝生の上でさえそれが成り立つに違いない。



電子ブック (e-Book)

2016年9月末現在で、理大サイトから和書577冊・洋書3128冊の電子ブックが利用可能です。また、夏に行ったフリートライアルの結果などから200冊ほど和書を新規購入します。この他、教育学部などでも購入が予定されています。

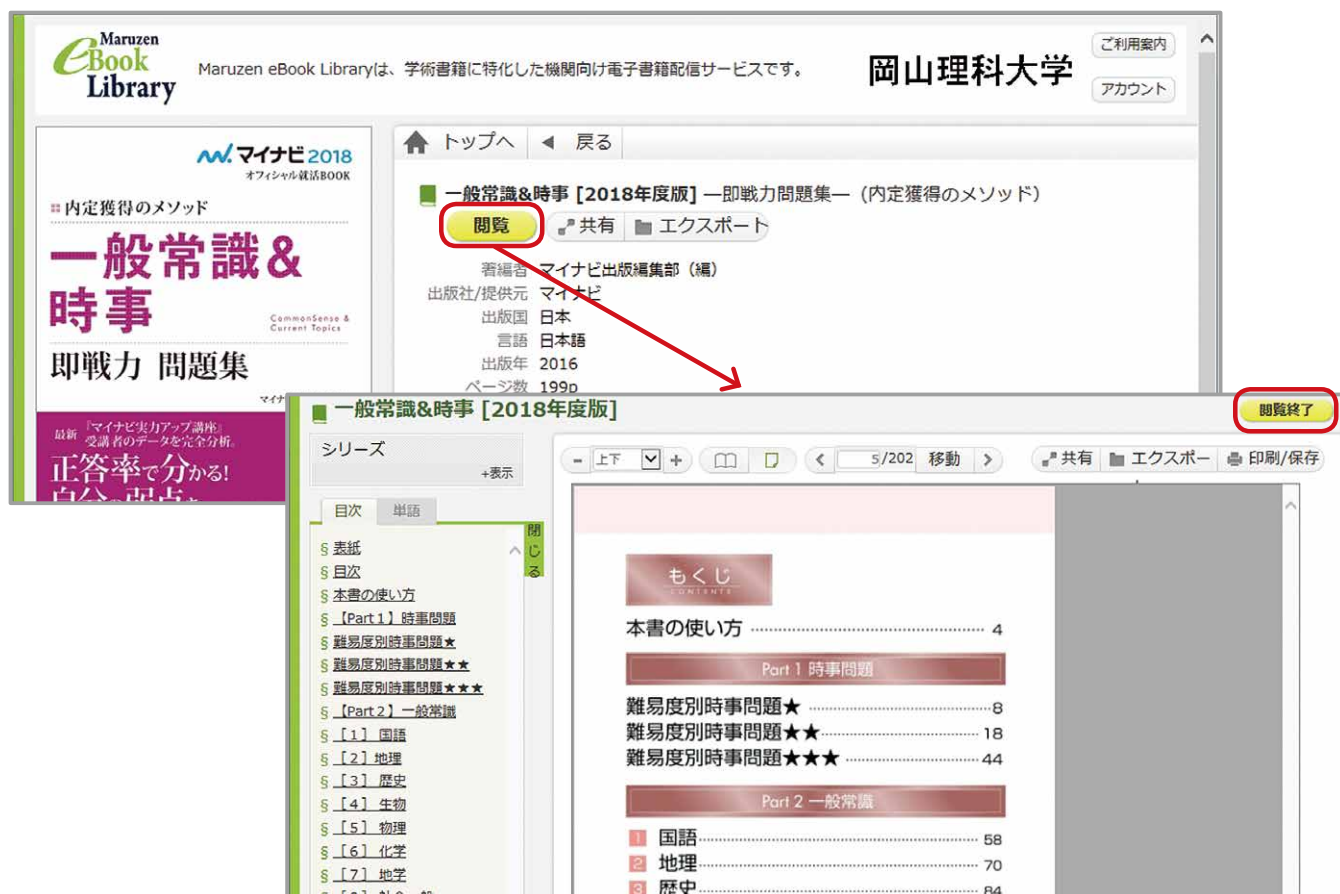
現在のところ、利用しているサイトは、Maruzen eBook Library, NetLibrary, SpringerLINK, ScienceDirect の4社です。いずれもIP認証ですので、理大サイトから自由にアクセスできます。また、LibrariE というサイト (ID/パスワード認証) の電子ブックも利用可能となります。先の4社が学術系、LibrariE は読み物系が主です。

9月に電子ブックのホームページを更新し、購入者別リストから分野別リストへと変更しました。グッと使いやすくなったと思います。以下、画面を追って、新しい電子ブックのページを紹介します。

図書館のホームページのe-Bookのリンクをクリックすると、左フレームに電子ブックの分野別 Index が、右フレームに利用上の注意が表示されます。次に、分野別 Index の中から例えば「就職関連」をクリックすると、右フレームに、就職関連書の図書リストが表示されます。



「電子ブックを表示」のリンクをクリックすると、電子ブックサイトが表示され、この例では次に「閲覧」ボタンをクリックすれば、電子ブックの内容が表示されます。



「印刷／保存」ボタンをクリックしてPDF ファイルをダウンロードすることが可能です。ダウンロードしたデータをUSB メモリー等に保存すれば、好きな場所で読むことができます。閲覧中はこの本を一人が占有していることとなりますので、最後に必ず「閲覧終了」ボタンをクリックして終了し、他の人が読めるようにして下さい。

また、キーワードでの検索もできますので、例えば「Excel」で検索すれば、Excel 関連書のリストが、表示されます。



現在は、学術書が中心ですが、学生希望図書でも受付しますので、申し込んでください。
現在利用可能なタイトルを一部紹介します。

学生・院生のためのレポート・論文の作成マニュアル	よくわかる Microsoft Access 2013
TOEIC テスト魔法の単語帳	しっかり学ぶ微分積分
アパレル業界ハンドブック	量子力学30講
なぜ、日本人はモノを買わないのか？	化学大辞典
印刷業界ハンドブック	バイオ実験超基本 Q&A：意外に知らない、いまさら聞けない
はじめての留学スーパーガイド	マウス実験の基礎知識
半導体業界ハンドブック	21世紀の資本

図書館のパソコン（45台＋館内貸出用35台）などを使って、どんどん利用してください。

サマー・スタディ2016

平成28年8月25日（木）、26日（金）に、岡山理科大学 A1号館 4階図書館で、小学生を対象に、サマー・スタディが開催されました。サマー・スタディは、近隣の小学生の勉強を理大生がサポートすることにより、地域貢献をするとともに理大生に様々な経験をしてもらうことを目的として、平成27年度より開始されたイベントです。

今年は29名の小学生が申し込んでくれました。

両日の参加人数は以下の通りでした。

月 日	8月25日	8月26日
小 学 生	18名	17名
理 大 生	15名	11名



夏休みの宿題を中心に、小学生を理大生がサポートしながら（直接答えは教えず、考え方などを教えてサポートします）、ドリル・作文・自由研究などが、行われました。

勉強だけでなく、自由研究も行っています。

昼食後には、21号館 3階図書館の恐竜標本の展示スペースの見学が行われました。

休み時間も忘れて、自由研究のネタ部屋に入りびたり、次々試す小学生もいました。

アンケート結果によると、自由研究が最も楽しかったようです。自由研究のネタが載っている本や、ある程度の材料は用意したのですが、足りない物は理大生や小学生のその場の創意工夫で補っていたようでした。

習字を行っていた小学生もいましたが、先生役の理大生は習字の有段者だったようで、偶然ですが、ピッタリの組み合わせでした。



入館者数とラーニングコモンズ

今年の4月より、A1号館図書館が開館し館内のラーニングコモンズも運用が始まりました。図書館の入館者数を昨年と比較すると右のグラフのようになります。春学期の合計は、全体で1.5倍、A1、A2号館図書館だけだと2.2倍になっています。大きな要因は、A1号館の開館にあるのは言うまでもありません。

当初は、どう使うのか？という疑問があったためか利用の少なかったラーニングコモンズも、友達と一緒に相談しながら勉強する、パソコンも使って、ホワイトボードも使って皆で勉強する、というこちらの意図通りの使い方がいつの間にか浸透し、今ではずいぶん利用が多くなりました。これも入館者数の増加に寄与していると思われます。

ラーニングコモンズ自体の利用には制限がありませんが、ラーニングコモンズ内のグループ学習室（12人用が3部屋あります）は、予約制です。カウンタで予約してください。4人以上で1時限単位での予約となりますが、2時限連続しての予約も可能です。尚、利用時間終了の15分前にカウンタで確認して次の時限の予約がなければ延長して利用することもできます。

10月までに図書館の移設作業が終わり、11月より旧10号館図書館の文学系の資料をA2号館で提供を開始しました。これでやっと落ち着いた図書館を利用していただけです。

秋学期もどんどん図書館を利用してください。

